

新型コロナウイルス感染症5類移行後、 初めての敬老会が開催されました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



9月16日の敬老の日、健育会グループ恒例イベントの「敬老会」が開催されました。昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、ご家族や地域の方をお招きしたコロナ前と同じ形で開催することができました。

敬老会は、普段なかなかお見舞いに来ることができないご家族にもお越しいただき、患者さんとの楽しいひとときを過ごしていただきたいとの思いから開催しています。コロナ禍の3年間は、ご家族の参加は叶いませんでしたが、万全の感染対策のもと毎年開催を続けてきたので、敬老会も今年で28回目を迎えることができました。昨年からのキャッチフレーズ「愛情を持って親身な対応」は今年も継続しています。今年も多くのご家族に参加いただきました。ご家族の皆さんにも職員の「愛情を持って親身な対応」を感じていただけたのではないかと思います。

今年の敬老会大賞はお食事部門と演出部門に分けて選出いたしました。

敬老会大賞 お食事部門



いわき湯本病院

【選定理由】

伝統的な日本の美意識を感じさせる配色と、素材の持ち味を生かした盛り付けが際立っています。敬老の日のお祝いにふさわしい心温まるお食事であったため。



しおさい

【選定理由】

職員が一つ一つ丁寧に握ったお寿司が印象的です。新鮮なネタとバランスのとれた味わいで、美味しさと心遣いが光るお食事であったため。



ライフサポートひなた

【選定理由】

繊細かつ色彩豊かな盛り付けで、食の楽しみを提供。健康を考慮した多様な食材使用で、またムース食といった食形態にも配慮したお食事であったため。

敬老会大賞 演出部門



花川病院

【選定理由】

神輿、バンド、よさこい演舞と多くの職員がたくさんの演出に直接携わり、患者さんご家族をもてなす姿勢がたくさん見られたこと。



しおん

【選定理由】

迫力満点の演出で、職員とご利用者ご家族が一体となり、大変満足のいく一日を過ごしていただけたこと。



けやき

【選定理由】

規模が小さいからこそ、より手作り感があり、ご利用者ご家族から大変あたたかい感謝のお言葉をいただけたこと。

竹川病院



今回はコロナ期間中に実現できなかった全ての患者さんのご家族を招待しての敬老会となりました。

各病棟では、賀寿表彰・記念品の贈呈を行いました。今年は、梶田副院長より18名の方々を表彰させていただきました。

5階リハビリテーション室ではボッチャ、射的、釣り、そして輪投げなど患者さんご家族と一緒に楽しめるイベント会場を設置しました。ご家族には、患者さんの立つ・歩く・投げる・つかむ等の機能が回復した成果を実感していただけたと思います。各イベント会場とも大変盛り上がり真剣な表情でプレイしながらも、笑顔が絶えない和やかな雰囲気に包まれました。さらに、リハビリテーション部職員による出し物として、ハンドベル演奏とソーラン節を披露しました。

ハンドベル演奏は、昭和の名曲の一つ坂本九さんの「上を向いて歩こう」を演奏。ハンドベルの音色にしっかりと聴き入っている方、口ずさんでいる方、皆さん思い思いの形で演奏を楽しんでいただきました。ソーラン節は、リハビリテーション部1年目と2年目の職員が披露しました。「ソーラン、ソーラン！」という掛け声が響き渡り、患者さんご家族も一緒になって手拍子を送っていただきました。各病棟ではリハビリテーション部職員によるお神輿の練り歩きを実施しました。「ワッショイ！！ワッショイ！！」の掛け声が病棟に響き渡り、お祭りの雰囲気が病棟全体に一気に広がりました。

また、お昼には見た目にも楽しい9マスの弁当箱に、和洋中の人気のお料理を彩りよく詰めた特製弁当を用意。見た目にも大満足な昼食で、お祝いムードを盛り上げました。



熱川温泉病院



今年は昨年に続きご家族をご招待して、1Fロビーにて入院患者さんと一緒にイベントをご観覧いただく形で開催することができました。さらに昨年は見合わせていた病棟での「ご家族団らん昼食会」、1階ロビーでの「抹茶カフェ」、「プリクラ」、「地場産品福引大会」を再開し、ご家族の皆さんに楽しんでいただきました。病棟での昼食会は『伊豆の秋の味覚御膳』を用意しました。メニューは「彩りわっぱ飯・地魚の刺身2点盛り・地のり味噌汁・心太みつ豆～抹茶蜜～」。栄養科職員が丹精込めて作ったお料理を皆さん美味しそうに召し上がっていました。

イベントでは恒例の保育所児童による『おんせんたまご 懐メロダ

ンスメドレー』のあと、101歳を筆頭に90歳以上26名の方を対象にご長寿表彰式を行いました。さらに『REI マカ・ロア 祝賀のフラ』、職員による出し物『リハ職員6名によるリハビリ体操「BTS Dynamite」』と続き、最後は当院では久しぶりとなる『熱川名物 熱川道灌太鼓』を披露しました。ロビーに響き渡る演者の掛け声と和太鼓の振動は会場の皆さんに迫力をもって伝わりました。新型コロナウイルス感染症による自粛から4年。ようやく以前の病院祭の規模で開催することができたことで、患者さんご家族をおもてなしする病院職員も充実した時間を過ごすことができました。



今年の敬老会は、ご家族の皆さんと一緒に、祝賀の式典、お祝い膳、祝賀の催しを執り行いました。

ご長寿の祝賀は、最高齢105歳の患者さんを筆頭に、百寿から喜寿までの節目のお祝いの患者さん計17名を表彰させて頂きました。病院長より、ご長寿の患者さんに表彰状を授与。あわせて院内保育園の園児手作りのお祝いメダルと記念品を贈呈しました。複数のご家族からも祝辞とお便りを頂戴し、職員が代読してご紹介。最後に、表彰者代表の方から立派な御礼の言葉を頂戴しました。終始和やかな雰囲気の中、ご家族とも一緒にご長寿のお祝いを開催することができました。

催し物としては、保育園の園児たちからのお祝いのダンスと、外部ボランティアの方々による「すずめ踊り」の演舞をご披露いただきました。

園児たちの可愛いダンスに患者さんの顔も自然とほころび、すずめ踊りの皆さんの華やかな舞いと熱気に魅了され、患者さんと職員が一緒になって、大きな拍手を送りました。体調のご都合で式典に出席できなかった患者さんには、病院長と看護部長が病室を個別に訪問して、お一人ずつ表彰させていただきました。

昼食は、当院栄養科が技と真心を込めた特製「お祝膳」のにぎり寿司、いくら稲荷、天麩羅盛り合わせ、茶碗蒸し、すまし汁、デザートを提供させていただきました。笑顔で召し上がる様子から、ご満足いただけたものと思います。

午後は、外部ボランティアの方々各病棟に赴いて「ひょっとこ踊り」をご披露しました。煌びやかな衣装とひょっとこのお面というアンバランスないでたちの踊り手さんが滑稽なしぐさで患者さん一人一人と交流し、大笑いする方、思わず涙する方こもごもの温かく楽しい時間を過ごすことができました。

当日の様子は、石巻日日新聞の夕刊でも「人生の先輩をねぎらう」と紹介されました。



9時からは、ご長寿の皆さん5名（97歳1名、98歳1名、99歳1名、101歳1名、102歳1名）の病室を院長、ディレクター、看護部長がそれぞれ訪問し、記念品をお渡ししました。各階の師長も職員とともに各お部屋をまわり、ご家族から事前にお預かりしていたメッセージカードを読み上げてお渡ししました。患者さんたちは、ご家族からの温かいメッセージに笑顔を見せてくださいました。

その後、10時からは2階のリハビリ室で射的やヨーヨー釣り、輪投げなどを楽しんでいただきました。患者さんたちが童心に返ってゲームを楽しむ様子がとても印象的でした。11時には1階の外来スペースでお茶処「由美」を開店し、抹茶とお茶菓子を召し上がりながら、皆さんゆったりとした時間を過ごされました。

11時からはステージイベントが始まりました。ボランティアの方によるギター演奏（「川の流れるように」「上を向いて歩こう」ほか）が披露され、患者さんやご家族も一緒に口ずさんで楽しめました。また、いわき連による迫力ある阿波踊りのパフォーマンスは、会場を大いに盛り上げました。最後に、当院の職員によるフラダンス「アロハ」が披露され、患者さんにご家族に笑顔があふれました。ステージイベントの様子はインスタライブでも配信し、当日来られなかったご家族や地域の方々にもお楽しみいただきました。ライブ配信を通じて多くの方々とこの素晴らしい時間を共有できたことを嬉しく思います。

正面玄関では露店ブースを設置し、かき氷、焼きそば、フランクフルト、ジュースを提供しました。今年は9月に入っても猛暑が続いていたため、かき氷が特に好評で、「お祭りっていいね」という患者さんの声があちこちで聞かれました。患者さんもお家族も笑顔で、和やかな時間を過ごされていました。

12時からは、栄養科の職員が腕によりをかけた特別メニュー、刺身や天ぷらなどの病院祭特別食を提供し、大変ご好評いただきました。暑さの続く中、かき氷やお祭りの雰囲気が少しでも皆さんのリフレッシュになったようで、いつも以上に朗らかな表情や笑顔が見られました。



秋晴れ、「敬老の日」のお祝いにふさわしい日和でのスタートとなりました。患者さん、ご家族と一緒に屋内で安全に開催するために今年は病院隣接のコミュニティーセンターで初めての開催となりました。前日より会場設営の準備に始まり、患者さんにご家族へのプレゼントの準備、はなカフェの準備など皆さんの喜んでいただく笑顔を想像しながら職員一同ワクワク準備をしました。

午前中に各病棟の最高年齢の患者さんの表彰式を行い、100歳を筆頭に97歳、96歳と7名の患者さんが生駒副理事長より表彰され、涙と笑顔溢れるひと時となりました。

お食事は「花川特製海鮮ちらし」に「4種の茸の味噌汁」「具たくさん茶碗蒸し」「甘酢生姜の酢の物」「おはぎ」と豪華なメニューに患者さんは皆笑顔で「美味しい、美味しい」と秋の御膳に舌鼓をうち笑顔で幸せホルモンが溢れました。

午後は花川神輿で「ワッショイワッショイ」お祭りムードでイベントスタート。生駒副理事長の挨拶に始まり、職員バンドの「はなウタリ」と「リハビリステップ」の二つのバンドは懐メロコンサートを、30名のリハビリ職員は「健龍嵐舞」のよさこい演舞とバトントワリングを披露しました。熱く力漲る演舞やキュートで技ありのバトントワリングに皆自然とリズムに合わせて踊りだし、笑顔一色の幸せな時間となりました。「はなカフェ」では地元の徳光珈琲のコーヒーとケーキを堪能していただき、地元のパン屋さんの「パン」と、なると屋さんの「ザンギ」をお土産にし、ご家族からも「こんなに盛大にお祝いしていただいて感謝感謝です」「普段見られない笑顔、楽しむ姿を見られました」とたくさん嬉しいお言葉もいただきました。開催にあたり、職員一同練習に練習を重ねてきましたので職員も皆さんからたくさんエネルギーをいただき幸せ溢れるひと時となりました。

大泉学園複合施設 ねりま健育会病院／ライフサポートねりま



今年は地域貢献活動として病院側駐車場を開放し、野菜直売所・地ワイン販売・和菓子販売・キッチンカー2台を招致、また就労支援B型施設による菓子販売を実施しました。地域住民の方が50名以上参加して下さいました。野菜は午前中で完売し、地ワインもボトルは完売。キッチンカーも8割の商品が完売し大盛況のうちに終了となりました。地域住民の方より、当施設がどんな役割の施設のかなどのご質問があり、認知度の向上にも繋がりました。また職員による健康相談には退院された方や外来患者さん・デイケアのご利用者も参加して下さり、イベントを通じてコミュニティができていました。

ガーデンではゾーン・時間分けをした上で、職員によるかき氷・綿あめ・ドリンク提供を行い、職員と共に楽しんでいただきました。

綿あめを見た患者さんは「何十年ぶりだろ?」と童心に返っているかのようでした。射的・ヨーヨー釣りもガーデンにて実施し、金賞に盛大な拍手でお祝いして、記念撮影には満面の笑みを浮かべていらっしゃいました。

そして、今年も職員有志で結成された「ねりけんBAND」の演奏会を午前2回、午後2回開催しました。昨年はサクソとキーボードの2名のみでの演奏でしたが、今年はギター、ベース、キーボード、ドラムに加えて、女性医師によるボーカルも加わり、大迫力の演奏会となりました。話上手な職員によるMCが盛り上げ役となり、アンコールが鳴りやまないほど盛況でした。夕方の表彰式では、米寿8名、卒寿9名、百二賀2名の計19名の方にご長寿の表彰と記念品の贈答を行いました。ご家族参加型で行い、102歳の方から感謝のご挨拶をいただくこともでき、患者さん・ご利用者にご家族から笑顔が多く見られる式典となりました。



佃という祭り好きな土地柄、町会、佃中学校の協力のもと、「地元
の祭り」の雰囲気を感じてくれたイベントを企画しました。
はじめに、米寿を迎える患者さん1名、90歳以上の患者さん4名に
長寿の表彰を行いました。その後、昨年地域で行われた「住吉神社
例大祭」の様子を上映。神輿の巡行の際、患者さんからは、手拍子
や掛け声が出るなど大いに盛り上がり、院内にいながら祭りを体感
できると好評でした。
また、プロマジシャンによるマジックショーはこの日一番の盛り上
がりを見せ、患者さん参加型の手品では私たち職員も含め身を乗り
出てショーを楽しみました。
中間テストの時期のため当院に呼ぶことはできませんでしたが、佃
中学校和太鼓部による演奏の様子をビデオ上映。力強い太鼓の響き
に、患者さんもくぎ付けとなりました。簡易的ではありましたが、ヨーヨー釣り、輪投げ等の模擬縁日を実施。縁日の前には行列がで
きるほどの盛況ぶりでした。最後に実際の祭りで使用した手ぬぐい（町会より提供）を参加者全員にプレゼント。大いに喜ばれました。
短い時間ながらも地域に根差した出し物を盛り込み、初の試みであるマジックショーも好評に終わり、患者さんの笑顔あふれるイベント
となりました。



ライフケアガーデン湘南



今年度のテーマは“愛情”
健育会グループの方針に「愛情を持って親身な対応」がありま
す。ご入居者の皆さんへ敬意を表し感謝の気持ちが伝わるよう
に、愛情に満ちあふれた敬老祝賀会にしたいと思い、このテーマ
にしました。
レストランやエントランスをピンクのバルーンアートで飾りつ
け、ご入居者、ショートステイ・デイサービスご利用者の顔写真
をハートで飾りつけをしました。「うちのおじいちゃんどこだろ
う？」と面会に来られたご家族が探しているお姿も見られまし
た。
昼食のお祝い膳は「お赤飯、お造りの盛り合わせ、蟹の天ぷら、
金目鯛の西京焼きや八寸、デザートに林檎と梨のコンポート」と

見た目にも華やかで豪華なお食事を厨房職員総出で早朝から準備させていただきました。どれも美味しく皆さん大変満足していただ
けた様子でした。
午後の式典では百寿の方を筆頭に節目を迎えられたご入居者、ご利用者合わせて12名の方を表彰させていただきました。表彰の後
は司会による笑いヨガで気分転換してもらい、余興を披露させていただきました。今年度の余興は外部ボランティアを入れず、職員
だけで披露しました。ひとつ目は合唱「たぬきばやし」を中秋の名月にちなみ披露、ふたつ目の踊りではソーラン節を披露しまし
た。どちらの余興も看護、介護、通所、事務所職員一丸となって行いました。普段とは違う職員の様子をご覧いただき、一緒に歌を
歌ってくださったり、手拍子をしてくださったりと、とても盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。
来年度はもっとご家族、ご入居者が参加したくなる敬老祝賀会を開催出来るよう委員会メンバーを中心に企画し実行していきたいと
思います。



午前は、ゆったりとした雰囲気のカフェコーナーが開かれ、ご利用者の方々はご家族と一緒に、各種ジュースやコーヒー、ケーキを楽しみながらリラックスしたひとときを過ごしました。特にこだわったのは、新鮮な豆をその場で挽きドリップして提供するコーヒーで、豊かな香りは皆さんの至福のひとときとなりました。フォトフレーム作りコーナーでは、ご利用者の方々がご家族と一緒に色とりどりの材料を使って自分だけのアート作品を作成しました。アロママッサージコーナーではリラクゼーションのひとときを提供しました。アロマオイルの心地よい香りに包まれながら、アロマケア技術認定者が一人一人に丁寧なマッサージを行い心身のリフレッシュを図りました。



昼食にはお祝い御膳が提供されました。旬の食材をふんだんに使用した豪華な御膳は見た目にも美しく、特に「松茸のすまし汁」の香りは大変好評でした。

午後の式典は施設長の挨拶から始まり、長寿者披露では百二賀2名、百一賀1名、白寿2名、卒寿3名、米寿7名、傘寿3名、喜寿8名の計26名の皆さんが発表され、会場からの温かい拍手の中、心を込めた記念品と花束を贈呈し感謝の気持ちと敬意が表されました。地域の子供園からのお祝いのビデオが上映されると可愛らしい子供たちからのメッセージにご利用者の方々は心温まるひとときを過ごし、またご家族からのお手紙やビデオレターの紹介では、ご家族の感謝の気持ちや愛情が感じられる温かい感動的な瞬間となりました。式典の後半では職員による多彩なパフォーマンスが行われ、ハンドベルとピアノ演奏では美しい音色が会場に響き渡り心癒されるひとときとなりました。ズンドコ節では元気いっぴいの音楽が会場を盛り上げました。ちんどん屋と落語をアレンジした演目では、華やかな衣装をまとったちんどん屋の演技や落語の演目で笑いと歓声を呼び、その後、力強い南中ソーランの踊りの迫力は会場の皆さんを圧倒しました。ホーム長の優しさのこもった閉会の挨拶で締められた後は、最後にご家族も入れての敬老会参加者全員で集合写真を撮影しました。笑顔が溢れるこの一枚は今日の楽しい思い出が詰まった大切な記念となりました。

ケアポート板橋



昼食は昨年好評だった天ぷらをメインとし、松茸ご飯、おかずはゴマ豆腐や煮しめ、すまし汁と食材の組み合わせに富んだ献立を準備させていただきました。ご利用者からは「今まで一番美味しかった」という声が多くいただくことができました。今年は節目の方が多く、古希から百歳以上の長寿の方まで、総勢28名の方を表彰させていただきました。お一人ずつに合わせた内容での表彰は個性に溢れており、「ありがとうございます。ここまで生きて来れたのも皆様のおかげです」と多くの方に笑顔と感謝をお渡しすることができました。お祝い催し物としては、パフォーマンスバンクさんからの歌謡ショーと各フロアの職員からのダンスや太鼓演舞など、多岐に渡りました。

また、沖縄舞踊のエイサーもデイサービスから駆けつけ、自然と身体が動き一緒に踊る姿も見られ、非常に楽しまれておりました。何より、今年度よりご家族の敬老会ご招待を再開したことにより、「家族と一緒に祝いできて嬉しかった」「一緒に写真が撮れて良かった」と笑顔が溢れ、ご家族と撮った写真はその日の内にラミネートし、ご家族にも記念品としてお渡しすることができました。

グループホーム かもめの家



一階のデイルームをメイン会場として、敬老祝賀会を執り行いました。式典では節目のご利用者3名の表彰、また、ご利用者へ記念品として「枕」のプレゼント授与をさせていただき、大変喜ばれておりました。式典後はご家族と団欒する時間を設け、ゆっくりと家族水入らずの時間を大切に過ごしていただき、非常に穏やかな時間が流れておりました。その後、歌唱ボランティアさんからの歌のプレゼント、最後は東京音頭で職員と共いうたい、踊り、笑顔溢れる会となりました。

食のプレゼントとしては、昼食時に松花堂弁当に舌鼓をうち、おやつには敬老会お祝いケーキを提供し、華やかさと美味しさに皆さん満面の笑みを浮かべておられました。小規模ではありましたが、穏やかな温かい敬老会となりました。

ケアセンター けやき



今年も昨年同様新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、ご家族との食事は見送り、入居ご家族は式典、余興のみ招待させていただきました。

午前中は通所り八にて式典を開催し6名の節目の方の表彰を行いました。昼食ではお祝い御膳とシャンパンを用意させていただき、乾杯をすると普段とは違い「美味しいわ、くいとっっちゃった」と笑顔でおかわりされている方もいらっしゃいました。お祝い御膳を見ると、「今日は豪華ね、美味しい」とおっしゃり、笑顔で召し上がられておりました。

午後にはデイサービス、入居にて式典。デイサービスでは12名、入居では9名の方を表彰させていただき、その後余興を開催いたしました。

式典では100歳超えの長寿の方がお礼の挨拶をされましたが、車椅子より立ち上がり会場にいる方に聞こえるよう大きな声で感謝を述べられており、職員を含め参加されたご家族も大きな拍手で会場を沸かせておりました。余興では職員による花笠音頭、ボランティアによるお祝いソングを披露させていただくと、ご自身でも手を振り踊って、手をたたいて喜ばれておりました。その後、写真撮影を行い、敬老会は閉会しましたが、ご家族が帰られる際には「良い敬老会ありがとうございました、お忙しい中練習大変だったでしょう」と言葉をいただく事が出来ました。



今年の敬老会は少し早い12日に開催致しました。契約者28名中21名の方が参加され、盛大に行うことができました。ご家族の方は4組来られました。

ご長寿の記念品贈呈は4名、最高齢は101歳の女性の方です。101歳のK様はいつもより少しオシャレに服装をきめていらっしゃいました。こういうお気持ちが長生きの秘訣なのかもしれません。米寿、喜寿、緑寿の方々に記念品を手渡し記念撮影しました。素敵なお食事は老舗の「割烹 竹ふじ」のお弁当です。完食される方も多く、皆さんの満足そうな顔を拝見できて大変喜ばしかったです。余興の演目では、友プロダクションさんに日本舞踊と伝統的な踊りをご披露いただきました。



続いて、津軽すこっぷ三味線世界大会で優勝した石巻スコッパーズ

さんに世界一の技をご披露いただきました。ご利用者の皆さんも手拍子やポンポンを振って盛り上がりました。職員も飛び入り参加で、すこっぷ三味線を弾かせていただき、みんなで楽しむことができました。外では猛暑の中、能登復興支援バザーを開催し、ご利用者は合間を見てバザーの掘り出し物を見つけて購入されていました。いろんな楽しみが詰まった今年のナースイン敬老会でした。

介護老人保健施設 しおん



10時の開会と共に各ユニットで祝い年を迎えられるご利用者のご長寿表彰式を開催。ご家族に見守られながら恥ずかしそうに賞状を受け取り「嬉しいなあ。賞状もらえるなんて～」と何度も口にしては涙を流されるご利用者もいました。今年は3名の百一賀を筆頭に総勢23名のご利用者を各ユニットの皆さんで祝いました。お食事は敬老膳。お赤飯、お刺身、天ぷら、鯛粥、煮物、小鉢2種盛り合わせ、清汁、和菓子と豪華で、すごいボリューム！！いつもは小食のご利用者も今日ばかりは、食べる食べるで綺麗に完食される様子があちこちで見られました。

そして、午後からは「タイムスリップと仲間たち」の生演奏と歌。ご利用者からのリクエストで懐かしい曲がユニット内に響き渡りました。続いて「コスモス会」の日本舞踊です。こちらはし

っとり優雅な気持ちで楽しみました。そして、最後は職員による「南中よさこいソーラン」迫力満点のよさこいに掛け声が上り一体感が生まれました。一日喜んで、楽しんで、疲れて、夜はグッスリお休みいただきました。

オアシス21



さわやかな秋晴れのもと、敬老祭を開催しました。昼食にはこの日のために栄養科が心を込めたお祝い膳「秋の緑州膳～心葉～」をご用意させていただきました。大きな海老フライが目を引き、鮭や帆立などの新鮮な海の幸や季節の果物をふんだんに用いた特別なお料理を前に皆さん笑顔を活かしながら楽しいランチタイムを過ごされました。

食後のイベントでは5年ぶりに外部ボランティアの方々に来ていただき、また、ご家族もフロアにお呼びして楽しいひと時を過ごしていただける場をご用意しました。

花川南中学校吹奏楽部による演奏会では、懐かしい楽曲に合わせて皆さんが口ずさむ場面が見られ、中には涙される方もいらっしゃいました。



入所棟では職員による踊りや迫力ある獅子舞の演舞が披露され、会場は終始和やかな雰囲気になりました。恒例の長寿のお祝いと笑顔フォトコンテスト表彰では、受賞された方々の中に感極まって涙を流す方も見られ、フロア全体が暖かい拍手に包まれました。

通所リハでは民謡ボランティアによる活気あふれる演舞が披露され、ご利用者からは笑顔があふれ、大いに盛り上がりました。また、花川病院よさこいチームによる出張演舞も行われ、大盛況の一日となりました。

花びりか



昼食の敬老会お祝い御膳は「毎年美味しいお弁当で楽しみだよ」と大評判でした。ご家族からは「おいしいお弁当食わせて頂いて、ありがとうございます」の声をいただきました。

3階の会場では、花びりか管理者による手品、職員による「真っ赤な太陽」ダンスを披露しました。5階の会場では、職員によるイントロクイズを実施。ご入居者からは「職員さん忙しいのによく練習したね、面白かったよ」と声をかけていただきました。

コロナ渦の際は、余興までご家族と一緒に過ごしていただけなかったですが、今年ようやく昼食から余興まで一緒に過ごしていただき「お弁当も大変美味しかったですし、余興も楽しかったです」とご来場のご家族の皆さんに言っていただきました。

介護老人保健施設ライフサポートひなた



敬老会当日、長寿表彰対象者の方々に感謝と敬意を込めて賞状をお渡ししました。今年の対象者は、入所部門で16名、デイケア部門で17名、合計33名でした。最高齢は100歳です。

イベントは職員によるけん玉の披露から始まり、「箱の中身はなんだろな？」や「ソーラン節」が披露されました。今年もご家族の方々をお招きし、笑いと手拍子に包まれた楽しい時間を過ごしていただきました。

昼食には特製の敬老御膳が提供され、普段とは異なるメニューに皆さん舌鼓を打ち、「美味しいね！」「これが毎日食べられたらいいな」といった声が聞かれました。次年度以降もご家族と共に祝賀会を開催できるよう、職員一同、新たに誓いを立てました。

